



# 菜の花通信

No.9  
10周年記念号  
2015年11月1日

菜の花を育てて地域を元気に！ 菜の花プロジェクトみのお

〒562-0003 箕面市西小路 3-12-6 (結みのお気付)  
TEL&FAX 072-722-9914 E-mail nanohanaminoh@gmail.com http://nanohana-minoh.com/  
郵便振替番号 00980-0-278929 (口座名 菜の花プロジェクトみのお)



<写真：菜の花まつり（4月）>

2005年8月にスタートした私たちの活動が満10年を迎えました。振り返ってみると、ナタネ栽培の知識も経験もない市民のNPOとして出発し、最初の3年間は止々呂美の休耕田、その後3年間は第二中学校校庭、そして西小路3丁目の休耕田で3年、そして昨年からは茨木市泉原を栽培活動の拠点に活動を展開してきました。毎年試行錯誤の繰り返しでしたが、畑での栽培では箕面産一番搾りの菜種油を瓶詰にして販売し、二中から箕面保育園まで学校等での環境教育のお手伝いも6校に増え、多くの子どもたちにナタネの栽培から搾油までを体験してもらうことができました。

止々呂美での栽培活動では毎年さまざまな問題に遭遇し、助成金も切れる中で会の活動が持続できるか不安だらけでした。そうした中で学校等での環境教育や市民向けの啓蒙活動にシフトして細々と活動を続けていましたが、やはり農地でナタネを栽培したいという思いが募ってきました。事務所の間近に遊休農地があり、事務局長の地主さんへの直談判で、2011年秋からこの農地を使わ

菜の花プロジェクトみのお代表 こうさき 神前 進一

せてもらうことになりました。便利な場所にあるため新たな会員も加わり頻りに栽培活動に通い、周辺住民にも親しまれる畑になりました。この農地ではナタネ栽培に加え、裏作にサツマイモを栽培し親子芋ほり体験を楽しんでもらい、畑の一部で有機野菜を栽培し販売することで、会の収入面でも補助金等に頼らない自主財源の確保ができるようになり、活動の幅を広げ持続させる上で大きな転機になりました。畑の一部を使って保育園や幼稚園の子どもたちに芋や野菜を育てて収穫する場を提供し、定期的に有機野菜を販売することで新たな人のつながりを生み、箕面を元気にすることに貢献できたと自負しています。

昨年からは栽培活動の拠点を茨木市泉原に移し1年半が経過しました。今年は収穫間際にスズメの食害に遭い16kg余りの収穫しかなく、菜種油の販売をあきらめざるを得ませんでしたが、年間を通じて多くの野菜を栽培して販売することができました。今後は箕面市内の遊休農地を利用して栽培活動を広げていくことを目標に、次の10年に向けて若い世代の会員の一層の活躍を期待しています。